

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	地域・在宅看護援助論 Ⅲ (在宅での医療管理 と看護)	学 期	後 期	河上 葉子 (看護教員) 齊藤 操 (看護師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目 的 (ねらい)	在宅療養者の特徴を理解し、療養者の状況に応じて展開される在宅看護技術を学ぶ。			
目 標	1. 療養者の生活を基盤とした日常生活援助技術について理解する。 2. 在宅療養を支える専門的なケアや看護技術について理解する。 3. 家族支援のあり方について考察する。			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	初回訪問について	訪問時のマナーの重要性とその基本	講義・演習
	2・3	日常生活援助について	日常生活援助の実際	講義・演習
	4	家族支援 1	} 家族看護 (家族の機能・家族アセスメント)	講義
	5	家族支援 2		
	6	食事への援助技術 (在宅中心静脈栄養と胃瘻の療養者の看護)	在宅中心静脈栄養法と在宅経管栄養法の看護	講義
	7	脳血管疾患療養者の看護	脳血管疾患の特徴・事例検討	GW・講義
	8	慢性心不全・CAPD 療養者の看護	在宅で療養するための具体的支援	講義
	9	呼吸循環の調節と看護 (人工呼吸器・気切・吸引、COPD・在宅酸素療法を受ける療養者の看護)	在宅酸素を必要とする療養者への具体的支援	GW・講義
	10	在宅医療機器の体験 (業者)	在宅酸素、NPPV の機器を触ってみる	講義・演習
		* 1. 2. 3. 6. 8 齊藤操 * 4. 5. 7. 9. 10 河上		
教科書	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版 ナーシンググラフィカ「在宅療養を支える技術」メディカ出版			
参考文献	新聞、専門雑誌等。必要に応じて資料配布、紹介をする。			
評価方法	定期試験、課題の提出状況・内容、授業中の態度を総合的に評価する。 定期試験は、齊藤操教員 50 点、河上教員 50 点 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	文化人類学 心理学 コミュニケーション論 生命倫理学 現代社会論 リハビリテーション論 医療倫理 社会保障・社会福祉 公衆衛生 看護関係法規 看護学			
自己学習に関する指針	メディアを積極的に活用し、「地域・在宅看護」「地域・在宅医療」等に関する情報を各自で得ること。 地域・在宅看護概論Ⅰ・Ⅱの学びを復習しながら授業を受けること。			
その他の 通知事項	質問には適宜応じる。			